

第1回定期考査1週間前

定期考査は、これまでの自分の学習活動の評価としても活用することができます。

努力の質が向上することにより、今後の目標達成に必要な能力を身につけるのにかかるであろう時間を短縮させることができる可能性が高くなります。目標達成への自信や自己肯定感の向上にもつながりますので、好き・嫌いといった感情をコントロールして、「やったらできる」「できるように努力する」と言い聞かせて、自分と結果をコントロールできるようにしましょう。

- 1 定期考査出題範囲表（裏面）
 - 2 テスト受験の流儀 【考査のルーティン】
 0. 定期考査受験上の注意を確認する。
 1. 目標設定
やや高めに設定・見える場所に貼るなど意識しやすくする。
 2. 計画
学習スケジュールを決める。（Googleカレンダーに入力）
 3. 実行 : 計画したスケジュールで学習を進める。
わからない所は、学校で質問をしてやり方を調べておく。
 4. 評価 : 結果が出たら、目標点数一覧に記入。
間違えた問題は解きなおして、次は正解できるようにする。
- このような習慣は、社会でもとめられる「課題解決能力」の向上につながります。

3 学年HP

5月17日（火）に探究スタートアップ講習として自己探究講習を実施しました。その内容や資料・生徒の振り返りの意見などを掲載しましたので、是非ご覧ください。



令和4年度入学生

4 パワーワード 生き方・取組み方の参考となる言葉

【成功のための要素・条件】

成功者と失敗者の条件

	成功する人	失敗する人
1	人間的成長を求め続ける	現状に甘え逃げる
2	自信と誇りを持つ	愚痴っぽく言い訳ばかり
3	常に明確な目標を指向	目標が漠然としている
4	他人の幸福に役立ちたい	自分が傷つく事は回避
5	良い自己訓練を習慣化	気まぐれで場当たりの
6	失敗も成功につなげる	失敗を恐れて何もしない
7	今ここに100%全力投球	どンドン引き延ばす
8	自己投資を続ける	途中で投げ出す
9	何事も信じ行動する	不自信で行動できず
10	時間を有効に活用	時間を主体的に創らない
11	できる方法を考える	できない理由が先に出る
12	可能性に挑戦し続ける	不可能だ無理だと考える

成功する人と、
そうでない人の差は
紙一重だ。
成功しない人に
熱意がないわけではない。
違いは、粘り強さと忍耐力だ。

人は能力があっても必ず成功するわけではありません。能力は必要な要素ですが、それだけではうまくいかないものです。それ以外にどのような要素・条件が必要なのでしょう？絶対的な答えはありませんが、失敗した人と比較してみると必要な要素が見えてきます。自分がいくつ条件をクリアしているか？確認してみましょう。